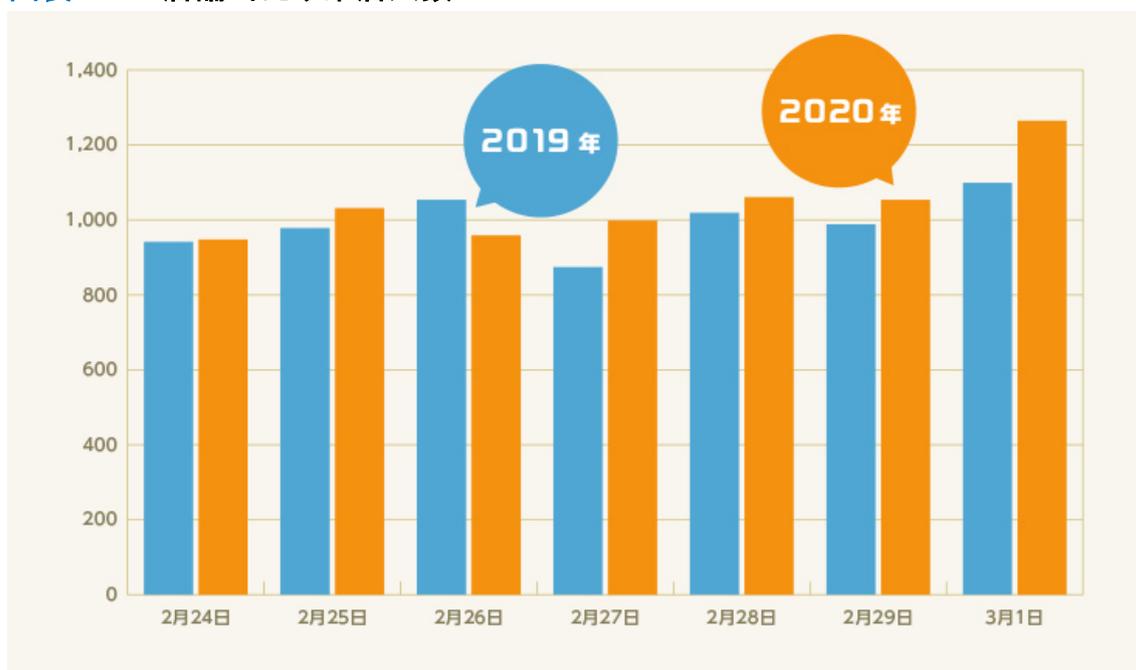


新型コロナウイルス感染拡大による食品スーパーへの影響

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国すべての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校について3月2日から春休みまで臨時休業を行うよう要請されました※。このことにより、食品スーパーにおいても大きな影響を受けています。そこで、休校の要請が出た翌日の金曜日から日曜日までの動向を中心に、販売動向に関して rsSM データを用いて確認しました。

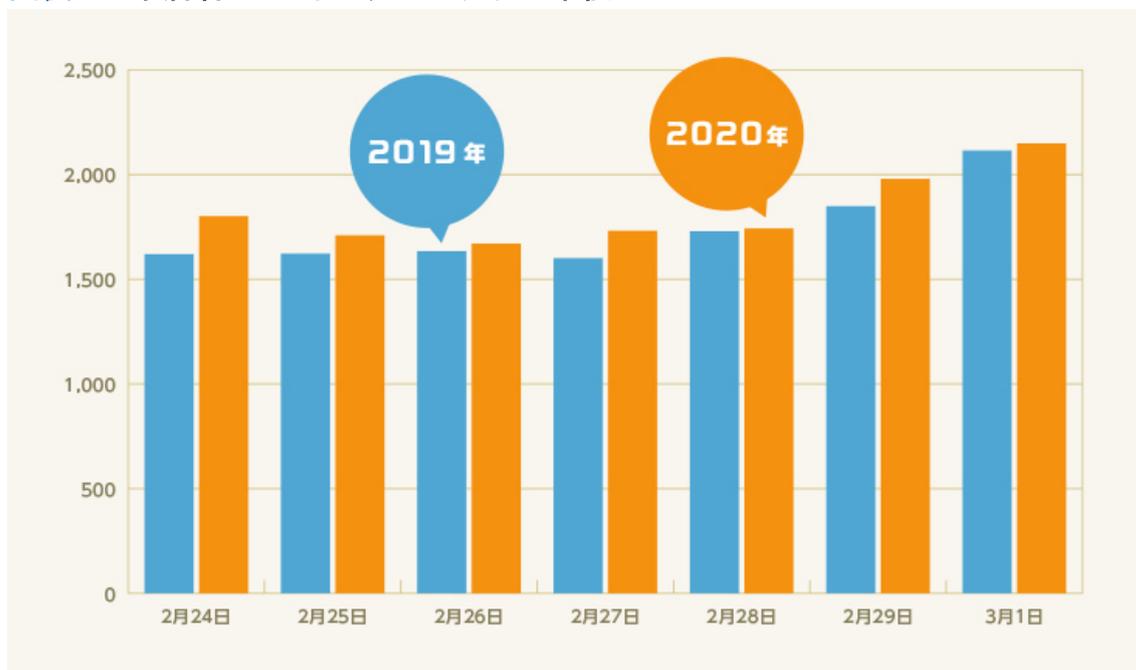
最初に、日別の1店舗当たり来店人数を前年同曜日と比較しました(図表1)。すると、元々前年を上回る日が多い状況でしたが、週末はさらに上回り、日曜日(2020年は3月1日)は、前年比115.1%と大きく来店客数が増加しました。

図表1 1店舗当たり来店人数



※来店人数はカード会員のみの数値です。2019年は前年同曜日

次に、来店者1人当たりのバスケット単価を集計しました(図表2)。すると、こちらも前年を上回る状況が続いていましたが、来店者が増加した土曜日はさらに上回り前年比107.1%、日曜日も101.6%でした。来店客数が増加しただけではなく、購入金額も増加しました。

図表 2 来店者 1 人当たりバスケット単価


それでは、どのカテゴリーの販売が増加したのでしょうか。期間中の点数 PI が前年に比べて増加した主なカテゴリー（i-code 分類 4）、減少した主なカテゴリーを集計しました。

点数 PI が増加した主なカテゴリーは図表 3 のとおりです。パスタソースやカレーレトルトなどの調味料や、冷凍麺、冷凍米飯などの冷凍食品の点数 PI が前年に比べて増加しました。学校が休校になり、子供用の昼食を作る必要が生じたことが影響したようです。また、うるち米も大きく増加しました。

図表 3 点数 PI が増加した主なカテゴリー

カテゴリー名	2019年3月1日~3日	2020年2月28日~3月1日	対前年同期
パスタソース	19.0	40.1	211.7%
乾燥パスタ	17.4	32.1	184.9%
カレーレトルト	18.8	34.8	184.9%
冷凍麺	48.5	78.6	162.1%
冷凍米飯	22.8	36.4	159.7%
うるち米	28.4	44.5	156.9%
袋麺	40.7	62.3	153.2%
冷凍スナック	13.8	19.7	142.6%

米飯レトルト	20.1	27.5	137.1%
カップ麺	190.6	254.4	133.5%
生・ゆでラーメン	26.3	35.0	133.3%
ミネラルウォーター	56.4	69.5	123.2%
米菓	75.7	88.9	117.3%
インスタントコーヒー	37.1	42.4	114.2%
ビスケット	47.8	54.2	113.4%

※点数 PI が 10.0 以上かつ主なカテゴリーを抜粋

一方、点数 PI が減少した主なカテゴリーは図表 4 のとおりです。新ジャンル、発泡酒など酒類の減少が見られました。当面の食品を優先して購買されたのかもしれませんが。

図表 4 点数 PI が減少した主なカテゴリー

カテゴリー名	2019年3月1日～3日	2020年2月28日～3月1日	対前年同期
和風半・生菓子	171.0	128.8	75.3%
新ジャンル	65.5	56.9	86.9%
発泡酒	16.4	14.4	88.1%
和風スナック惣菜	29.7	26.4	88.8%
ビール	36.0	32.1	89.2%
ビールテイスト飲料	11.4	10.9	95.8%

※点数 PI が 10.0 以上かつ主なカテゴリーを抜粋

休校は始まったばかりで今後様々な影響が予想されます。たとえば、各種加工調味料は、昼夜自宅で食事をする子供のため、メニューのバリエーションを広げようと購入されることが予想されます。また、先週末は点数 PI 値が減少した酒類も、外食を控えて自宅で飲酒する消費者が増えることから、増加に転じる可能性があります。

しかし、一刻も早くウイルスが沈静化し、いつも通りショッパーが食品スーパーへ来店する日が戻る日を願います。

※1 日本経済新聞 2020年2月27日